

統計研修講義計画書

研修課程	社会・人口統計の基本	講義科目	社会分析	講義時間	5コマ
講師	藤原 翔 東京大学社会科学研究所准教授				

※1コマ70分

講義のねらい

社会現象をどのようにとらえ、そしてどのように分析するのか。本講義では社会現象にアプローチする上での基礎的なデータ収集法とデータ分析法を議論したうえで、社会調査データを用いた分析を実践する。講義を通じて、分析手法だけではなく、社会現象の背後にあるメカニズムに関する仮説をたて、調査をデザインするためのスキルを身に付けることを目標とする。社会調査データを用いることによる因果分析の課題についても議論したい。

指導項目と内容

指導項目	内 容
社会分析の目的	社会現象を分析する なぜ社会分析が必要なのか
社会分析の実践	どのようにして社会現象をとらえるのか 記述的問いと説明的問い 質的調査と量的調査 実験と社会調査 相関、疑似相関、因果
統計手法を用いた社会分析	記述的分析による実態の把握 多変量解析による仮説検証とメカニズムの説明
社会分析の事例1 格差社会	格差社会論、格差の測定と格差生成メカニズム
社会分析の事例2 教育機会の不平等	なぜ大学に進学しないのか、子どもの格差
社会分析の事例3 ジェンダー	男女差を読み解く

講義形態 指導方法	講義を中心に行うが、必要に応じてRを用いた社会調査データ分析の実習を行う
受講に必要な 基礎知識等	特になし